

委託事業実施内容報告書

平成25年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業 【地域日本語教育実践プログラム(A)】

受託団体名 認定特定非営利活動法人地球学校

1. 事業名称

外国につながる子どもたちの日本語支援「地球っ子教室」

2. 事業の目的

日本語を母語としない子どもたちが日本でのびのびとした生活を構築できるような日本語支援及び日本語運用力の向上、子どもたちが生活する地域の中での居場所づくりを目的とする。

3. 事業内容の概要

- ① 日本語教室の設置・運営: 夏休み教室(8月19日、20日の午前2時間および午後2時間)と9月から3月までの土曜日に土曜教室、総計27回を開催予定(実質25回)。外国につながる子どもたちを対象に日本語習得のための支援を行う。
- ② 養成・研修の実施: 外国につながる子どもたちの置かれた現状の理解と、より良い指導を目指す人材の養成・研修のための講座開設。全21時間。
- ③ 教材の作成: 生活者としての外国人のための書き換え教材の作成～自分の住んでいる地域を知ろう「わたしたちの横浜」
- ④ 運営委員会の開催: 8月から3月までに全3回の運営委員会の開催

4. 運営委員会の開催について

【概要】

| 回数 | 開講日時 | 時間数 | 場所 | 出席者 | 議題 | 検討内容 |
|----|---------------------------|-----|---------------------|---|--|---|
| 1 | 平成25年9月14日 10:00～12:00 | 2時間 | かながわ県民活動サポートセンター712 | ・坂内 泰子 ・樋口 万喜子 ・古屋 恵子 ・辻 雅代 | ・文化庁委託事業の採択報告: 活動内容についての説明 ・養成・研修: 「日本語ボランティア向けの外国人の考えを聞いて考える講座」と「外国人と日本人ボランティア向けの防災講座」の内容について交渉など進捗状況説明 | ・夏休み教室は2日間全4回開催した。 ・土曜教室は9月から3月までに全23回開催する予定 ・養成・研修の講師交渉状況～未定のものも含め説明 ・防災講座の進捗状況～講師について。ボランティア教室への協力要請内容について。大まかな内容についての説明、昨年度作成した「減災行動のススメ」を活用する。 |
| 2 | 平成25年12月7日 17:00～19:00 | 2時間 | かながわ県民活動サポートセンター709 | ・坂内 泰子 ・樋口 万喜子 ・古屋 恵子 ・辻 雅代 ・丸山 伊津紀 | ・養成・研修の講座に招へいする外国につながる大学生たちへの交渉状況 ・終了した養成・研修についての報告 ・防災講座3回分について説明 ・教材作成進捗状況 ・教室報告: 3月に行うイベント漢字王決定戦の問題について | ・1月は学生にとって試験期間中のため、お願いする学生の協力を得にくいかもしれない。 ・横浜市中区の「なかラウンジ」での「防災講座」の報告 ・漢字教材キャラクターを新しくすること、漢字問題のイラストを学生にお願いすることなどの報告 |

| | | | | | | |
|---|---------------------------|-----|---------------------|---|---|--|
| 3 | 平成26年2月15日 15:00~17:00 | 2時間 | かながわ県民活動サポートセンター705 | ・坂内 泰子 ・樋口 万喜子 ・古屋 恵子 ・辻 雅代 ・丸山 伊津紀 | ・養成・研修講座実施報告 ・教材作成進捗状況説明:資料の利用請求について ・教室活動:雪の影響について | ・横浜市南区での防災講座:横浜市国際交流協会、南区役所、南消防署、地区の国際交流ラウンジ、日本語ボランティア教室、神奈川県立国際言語文化アカデミアとの連携についての報告 ・教材作成:資料請求とその利用許可についての説明(著作権に絡んでの対応) |
|---|---------------------------|-----|---------------------|---|---|--|

5. 日本語教室の実施

- (1) 講座名称 外国につながる子どもたちの日本語支援 地球っ子夏休み教室・地球っ子土曜教室
- (2) 目的・目標 親に連れられて日本に来た日本語を母語としない子どもたちへの日本語支援活動。日本での生活を円滑かつ楽しいものとし、友達づくりを通して、自信を持って日本人とのコミュニケーションがとれるようにすること。
- (3) 対象者 外国につながる子どもたち(日本の小学校・中学校に通う児童生徒。中学校を卒業して来日し、在籍・通学する学校のない子ども)
- (4) 開催時間数(回数) 50 時間 (全 25 回)
- (5) 使用した教材・リソース 「こどものほんご1・2」「みんなの日本語1・2」「カタカナドリル」「ことばの地図」「葛西ことばのテーブル語彙編・読解編」「三森ゆりか 論理エンジン」「AJALT かんじだいすき」など
- (6) 受講者の総数 54 人
(出身・国籍別内訳 中国44人, フィリピン7人, 日本3人)
- (7) 日本語教室の具体的内容

| 回数 | 開講日時 | 時間数 | 場所 | 参加人数 | 国籍(人数) | 取組のテーマ | 授業概要 | 講師又は指導者名 | 補助者名 |
|----|---------------------------|-----|--------------------|------|--------------------------|---|---|--|------|
| 1 | 平成25年8月19日 10:00~12:00 | 2時間 | 神奈川県民活動サポートセンター711 | 11人 | 中国7人 フィリピン 3人 日本1人 | ・初級日本語指導(あいさつ・自己紹介・平仮名) ・作文 ・読解 ・ワーク | ・初級日本語 平仮名の読み書き ・数字のいい方(数える、月日、時間) ・簡単な文章を書く(作文) ・日本語文章の読み ・「減災行動のススメ」を読んで地震について考えるワーク | 押野成美 小椋つや子 小林とも子 木口深雪 辻雅代 吉田貴代子 吉田涼子 | |
| 2 | 平成25年8月19日 13:00~15:00 | 2時間 | 神奈川県民活動サポートセンター711 | 12人 | 中国8人 フィリピン 3人 日本1人 | ・初級日本語指導(あいさつ・自己紹介・平仮名読み) ・作文 ・読解 ・ワーク | ・初級日本語 平仮名の読み書き ・数字のいい方(数える、月日、時間、助数詞) ・簡単な文章を書く(作文) ・日本語文章の読み ・「減災行動のススメ」を読んで地震について考えるワーク ・国語教科書の読解 | 押野成美 小椋つや子 小林とも子 木口深雪 辻雅代 吉田貴代子 吉田涼子 | |
| 3 | 平成25年8月20日 10:00~12:00 | 2時間 | 神奈川県民活動サポートセンター711 | 8人 | 中国5人 フィリピン 3人 | ・初級日本語指導(あいさつ・自己紹介・ひらがな・カタカナ) ・作文 ・読解 ・ワーク | ・初級日本語 平仮名の読み書き ・数字のいい方(数える、月日、時間、助数詞) ・簡単な文章を書く(作文) ・日本語文章の読み ・「減災行動のススメ」を読んで地震について考えるワーク ・国語教科書の読解 | 小椋つや子 小林節子 木口深雪 曾路地千賀子 辻雅代 寺井和子 丸山伊津紀 吉田貴代子 | |
| 4 | 平成25年8月20日 13:00~15:00 | 2時間 | 神奈川県民活動サポートセンター711 | 13人 | 中国10人 フィリピン 3人 | ・初級日本語指導(あいさつ・自己紹介・ひらがな・カタカナ) ・作文 ・読解 ・ワーク | ・初級日本語 平仮名の読み書き ・数字のいい方(数える、月日、時間、助数詞) ・簡単な文章を書く(作文) ・日本語文章の読み ・「減災行動のススメ」を読んで地震について考えるワーク ・国語教科書の読解 | 小椋つや子 小林節子 木口深雪 辻雅代 寺井和子 丸山伊津紀 吉田貴代子 | |
| 5 | 平成25年9月7日 13:00~15:00 | 2時間 | 神奈川県民活動サポートセンター711 | 11人 | 中国8人 フィリピン 3人 | ・初級日本語指導 ・日本の地図 ・漢字 ・読解 | ・初級日本語指導 平仮名カタカナ・コソアド ・初級読解教材読み取り ・日本の位置、地図、すんでいる街 ・漢字指導 | 押野成美 小林節子 小林とも子 辻雅代 吉田貴代子 吉田涼子 | |

| | | | | | | | | | |
|----|------------------------------------|-----|------------------------|-----|-------------------|--|---|--|-----------------------|
| 6 | 平成25年 9月14日 13:00~ 15:00 | 2時間 | 神奈川県民活動サポートセンター702・703 | 11人 | 中国9人 フィリピン 2人 | ・初級日本語指導 ・初級読み物読解 ・中級読解 ・漢字指導 | ・初級日本語指導 平仮名カタカナの書き ・初級読解教材及び中級読解教材読み取り ・漢字指導 | 押野成美 木口深雪 辻雅代 茂木典子 吉田貴代子 吉田涼子 | |
| 7 | 平成25年 9月21日 13:00~ 15:00 | 2時間 | 神奈川県民活動サポートセンター711 | 12人 | 中国9人 フィリピン 3人 | ・初級日本語指導 ・初級読み物読解 ・中級読解 ・漢字指導 | ・初級日本語指導 平仮名カタカナの書き ・初級読解教材及び中級読解教材読み取り ・漢字指導 | 押野成美 影嶋知香子 小林節子 辻雅代 諸岡宣夫 横山咲子 吉田貴代子 | |
| 8 | 平成25年 9月28日 13:00~ 15:00 | 2時間 | 神奈川県民活動サポートセンター711 | 9人 | 中国7人 フィリピン 2人 | ・初級日本語指導 ・漢字指導 ・読解 | ・初級日本語指導 平仮名カタカナの書き ・初級読解教材読み取り ・漢字指導 ・「減災行動のススム」ワーク | 小河千咲子 押野成美 小林節子 辻雅代 諸岡宣夫 横山咲子 吉田貴代子 吉田涼子 | |
| 9 | 平成25年 10月5日 13:00~ 15:00 | 2時間 | 神奈川県民活動サポートセンター711 | 12人 | 中国10人 フィリピン 2人 | 漢字学習会 | ・地球っ子教室オリジナルの漢字ゲームで、グループで漢字を学習 | 一之瀬快朗 押野成美 影嶋知香子 小林節子 辻雅代 寺井和子 丸山伊津紀 茂木典子 吉田涼子 | |
| 10 | 平成25年 10月12日 13:00~ 15:00 | 2時間 | 神奈川県民活動サポートセンター702・703 | 16人 | 中国14人 フィリピン 2人 | ・初級日本語指導 ・初級読み物読解 ・中級読解 ・漢字指導 | ・初級日本語指導 物の数え方復習、時間のいい方復習 ・初級読解教材及び中級読解教材読み取り ・漢字指導 | 大村礼子 押野成美 辻雅代 茂木典子 八木静子 吉田涼子 | |
| 11 | 平成25年 10月19日 13:00~ 15:00 | 2時間 | 神奈川県民活動サポートセンター711 | 13人 | 中国10人 フィリピン 3人 | ・初級日本語指導 ・初級読み物読解 ・中級読解 ・漢字指導 | ・初級日本語指導 助詞の使い方、動詞の変化 ・初級読解教材及び中級読解教材読み取り ・漢字指導 | 押野成美 小林節子 辻雅代 茂木典子 吉田涼子 | 樋口叡 |
| 12 | 平成25年 10月26日 13:00~ 15:00 | 2時間 | 神奈川県民活動サポートセンター711 | 8人 | 中国7人 フィリピン 1人 | ・初級日本語指導 ・初級読み物読解 ・中級読解 ・漢字指導 | ・初級日本語指導 助詞の使い方、動詞の変化の復習 ・初級読解教材及び中級読解教材読み取り ・漢字指導 | 内山美智代 小河千咲子 押野成美 小林節子 | 本堂百合子 二見英晴 中村晴江 |
| 13 | 平成25年 11月2日 13:00~ 15:00 | 2時間 | 神奈川県民活動サポートセンター711 | 16人 | 中国14人 フィリピン 2人 | ・初級日本語指導 ・初級読み物読解 ・中級読解 ・漢字指導 | ・初級日本語指導 助詞の使い方、動詞の変化の復習 ・初級読解教材及び中級読解教材読み取り ・漢字指導 | 押野成美 小林節子 辻雅代 丸山伊津紀 茂木典子 真保貴美 | 二見英晴 |
| 14 | 平成25年 11月9日 13:00~ 15:00 | 2時間 | 神奈川県民活動サポートセンター709・601 | 8人 | 中国8人 | ・初級日本語指導 ・初級読み物読解 ・中級読解 ・漢字指導 | ・初級日本語指導 動詞文・形容詞文 ・初級読解教材及び中級読解教材読み取り ・漢字指導 | 内山美智代 押野成美 小林節子 辻雅代 茂木典子 吉田貴代子 吉田涼子 森川洋子 | |
| 15 | 平成25年 11月16日 13:00~ 15:00 | 2時間 | 神奈川県民活動サポートセンター711 | 9人 | 中国7人 フィリピン 2人 | ・初級日本語指導 ・初級読み物読解 ・中級読解 ・漢字指導 | ・初級日本語指導 動詞文・形容詞文 ・初級読解教材及び中級読解教材読み取り ・漢字指導 | 押野成美 小林とも子 辻雅代 寺井和子 茂木典子 吉田貴代子 森川洋子 | |

| | | | | | | | | | |
|----|------------------------------------|-----|------------------------|-----|-------------------|---|--|---|---------------|
| 16 | 平成25年 11月23日 13:00～ 15:00 | 2時間 | 神奈川県民活動サポートセンター711 | 16人 | 中国16人 | ・初級日本語指導 ・初級読み物読解 ・中級読解 ・漢字指導 | ・初級日本語指導 動詞文・形容詞文復習 など ・初級読解教材及び中級読解教材読み取り ・漢字指導 | 押野成美 小林節子 曾路地千賀子 寺井和子 茂木典子 諸岡宣夫 吉田涼子 | 二見英晴 |
| 17 | 平成25年 11月30日 13:00～ 15:00 | 2時間 | 神奈川県民活動サポートセンター711 | 16人 | 中国15人 フィリピン 1人 | ・初級日本語指導 ・初級読み物読解 ・中級読解 ・漢字指導 | ・初級日本語指導 丁寧な言い方の文章からの表現変換(ます形から辞書形)ドリル ・初級読解教材及び中級読解教材読み取り ・漢字指導 | 内山美智代 小河千咲子 押野成美 小林節子 辻雅代 諸岡宣夫 吉田涼子 | |
| 18 | 平成25年 12月7日 13:00～ 15:00 | 2時間 | 神奈川県民活動サポートセンター711 | 11人 | 中国10人 フィリピン 1人 | ・初級日本語指導 ・初級読み物読解 ・中級読解 ・漢字指導 | ・初級日本語指導 擬声語擬態語の理解 ・初級読解教材及び中級読解教材読み取り ・漢字指導 | 小河千咲子 押野成美 辻雅代 茂木典子 吉田涼子 真保貴美 森川洋子 | |
| 19 | 平成25年 12月14日 13:00～ 15:00 | 2時間 | 神奈川県民活動サポートセンター711 | 16人 | 中国15人 フィリピン 1人 | ・初級日本語指導 ・初級読み物読解 ・中級読解 ・漢字指導 | ・初級日本語指導 漢字仮名交じり文の読みとり ・初級読解教材及び中級読解教材読み取り ・漢字指導 | 押野成美 小林節子 辻雅代 茂木典子 諸岡宣夫 横山咲子 吉田涼子 森川洋子 | |
| 20 | 平成26年 1月11日 13:00～ 15:00 | 2時間 | 神奈川県民活動サポートセンター711 | 20人 | 中国19人 フィリピン 1人 | ・初級日本語指導 ・かんたんな文章の読解 ・小学生向け漢字指導 | ・文章の音読・内容理解 ・初級日本語指導:挨拶、平仮名の読み ・漢字指導:漢字の読み書き | 押野成美 小林節子 小林とも子 辻雅代 吉田涼子 森川洋子 | |
| 21 | 平成26年 1月18日 13:00～ 15:00 | 2時間 | 神奈川県民活動サポートセンター711 | 17人 | 中国15人 フィリピン 2人 | ・初級日本語指導 ・かんたんな文章の読解 ・小学生向け漢字指導 | ・文章の音読・内容理解 ・初級日本語指導:平仮名カタカナの読み書き・数字のいい方 ・漢字指導:漢字の読み書き | 押野成美 小林節子 真保貴美 辻雅代 森川洋子 | |
| 22 | 平成26年 1月25日 13:00～ 15:00 | 2時間 | 神奈川県民活動サポートセンター711 | 15人 | 中国13人 フィリピン 2人 | ・初級日本語指導 ・かんたんな文章の読解 ・小学生向け漢字指導 | ・文章の音読・内容理解 ・初級日本語指導:平仮名カタカナの読み書き ・漢字指導:漢字の読み書き | 押野成美 小林節子 辻雅代 吉田涼子 | 二見英晴 本堂百合子 |
| 23 | 平成26年 2月1日 13:00～ 15:00 | 2時間 | 神奈川県民活動サポートセンター711 | 16人 | 中国14人 フィリピン 2人 | ・初級日本語指導 ・かんたんな文章の読解 ・小学生向け漢字指導 | ・文章の音読・内容理解 ・初級日本語指導:平仮名カタカナの読み書き ・漢字指導:漢字の読み書き | 小河千咲子 押野成美 真保貴美 辻雅代 吉田涼子 | 二見英晴 本堂百合子 |
| 24 | 平成26年 2月8日 13:00～ 15:00 | 0 | 神奈川県民活動サポートセンター702・703 | 0 | 0 | | 大雪のため、児童生徒の登下校の安全が確保できないため中止 | | 0 |
| 25 | 平成26年 2月15日 13:00～ 15:00 | 0 | 神奈川県民活動サポートセンター711 | 0 | 0 | | 大雪のため、児童生徒の登下校の安全が確保できないため中止 | | 0 |
| 26 | 平成26年 2月22日 13:00～ 15:00 | 2時間 | 神奈川県民活動サポートセンター711 | 17人 | 中国15人 フィリピン 2人 | ・初級日本語指導 ・かんたんな作文 ・読解 ・小学生向け文法 | ・初級学習者に平仮名カタカナ指導、簡単な日本語文の読み、書き ・小学生用の文法指導 ・漢字指導 | 小河千咲子 押野成美 小林節子 辻雅代 吉田涼子 | 二見英晴 |

| | | | | | | | | | |
|----|----------------------------------|-----|--------------------------------|-----|---------------------------|-------|------------------------------------|---|---------------|
| 27 | 平成26年 3月1日 13:00~ 15:00 | 2時間 | 神奈川県民活 動サポートセン ター702・703 | 15人 | 中国13 人 フィリピ ン 2人 | 漢字学習会 | ・地球っ子教室オリジナルの漢字 ゲームで、グループで漢字を学習 | 押野成美 影嶋知香子 小林節子 辻雅代 丸山伊津紀 茂木典子 吉田涼子 | 二見英晴 本堂百合子 |
|----|----------------------------------|-----|--------------------------------|-----|---------------------------|-------|------------------------------------|---|---------------|

(8) 受講者の募集方法

- ① 地球学校地球っ子教室のHPで募集
- ② 横浜市内の小学校・中学校及び国際交流ラウンジ、外国人学校全30校に年間5回参加申し込みチラシ、教室日程を配布

(9) 特徴的な授業風景(2~3回分)

| 授業報告書 | | 地球っ子土曜教室 2013 | | | NPO 地球学校 | |
|-------|---|---------------|-----------|----------|----------|--|
| 月日 | 2014年 2月 1日 | 場所 | 県民センター711 | 通算 23 回目 | | |
| 担当者 | T | | | | | |
| 生徒名 | I/K (**小学校 4年) R/B(XX 小学校 4年) | | | | | |
| 教材 | <ul style="list-style-type: none"> ・国語読解問題集 ・かんじだいすき ・ローマ字の表 | | | | | |
| 授業内容 | <p>★ ローマ字・先週の残りのプリント → 駅などで見かける表記。 学校で習う表記で書き込むように指示</p> <p>★物語文1の読解 → 二人で「。」まで交代で音読。 読めない漢字は教えました。 文章内の語彙で、わからないものを取り出し。 日本人には日常的な語彙(小学生レベルの語彙)でも、わからないものがあります。</p> <p>★かんじだいすき 3年 → 漢字の書き取り</p> | | | | | |
| 申し送り | <p>★I/K ちゃんの方がいつも早く来ます。二人は違う学校ですし、母語も違いますが、同じ小学4年生の女の子ということで気があって、仲良く勉強しています。勉強を始めるのは、たいてい二人がそろってからです。</p> <p>★日本語の文字に慣れてきたのか、I/K ちゃんは書き込みが乱雑です。丁寧に書くように言うのですが、なかなか・ローマ字ははっきりきちんと書けました。</p> | | | | | |



写真1:平成25年8月20日 夏休み教室

写真2:平成26年3月1日 漢字王決定戦

(10) 目標の達成状況・成果

- ・ 来日直後(平成26年1月来日)の子どもたちに関しては、まだ日本語の運用が十分とは言えないが継続した学習を予定しているので基礎から積み上げられると考えている。
- ・ 来日数年で、日本語が分かりつつある子どもに関しては目標にの達成に近い成果が出ている。学校生活が円滑に送れるようになったこと、地球っ子教室内での日本語会話が多くなってきていること、書き上げた作文にその成果がうかがえる。
- ・ 中学生に関しては、自分の進路を含め将来のことを考える時期に差し掛かっているが学校の成績からも日本語学習の成果が表れているといえる。

(11) 改善点について

- ①緊急時の連絡網作成が急務。日本語による電話連絡が苦手な親がいるため、メールでの連絡網を作る必要がある。また、児童・生徒の登録時に届け出ている電話番号とは異なるものが多いことも問題。変更したら届け出るように指導する必要がある。
- ②初級学習者には1対1での指導が必要。担当者数を増やす必要がある。
- ③教室が安定的に確保できない。常時同じ会場を確保できるように工夫をしたい。

6. 日本語教育を行う人材の養成・研修の実施

(1) 講座名称 外国につながる子ども達の置かれた現状理解と、よりよい指導を目指す人材の養成・研修

(2) 目的・目標

- ①外国につながる子ども達が置かれた日本社会の現状への理解
- ②子ども達へのよりよい指導の在り方の体得

(3) 対象者

- ①外国につながる子ども達の日本語指導・生活支援を行うボランティア
- ②外国につながる子どもたちの保護者などで、子どもの支援を考えている人たち

(4) 開催時間数(回数) 23 時間 15分 (全 10 回)

(5) 使用した教材・リソース

- ① 講師準備の資料
- ② 2012年度地球っ子教室作成「減災行動ノススメ」
- ③神奈川県立国際言語文化アカデミア版「つながるにほんご」から「災害」

(6) 受講者の総数 163 人

(出身・国籍別内訳)

中国51人、ペルー2人、韓国1人、フィリピン2人、台湾3人、インド3人、パキスタン1人、ロシア2人、アフガニスタン1人、モルドバ1人、イギリス1人、日本95人

(7) 養成・研修の具体的内容

A : 日本で暮らす外国人に学ぶシリーズ1~4

B : 防災講座~外国人対象

| 回数 | 開講日時 | 時間数 | 場所 | 参加人数 | 国籍(人数) | 取組のテーマ | 授業概要 | 講師又は指導者名 | 補助者名 |
|-----|------------------------------------|------------|-----------------------------------|------|--|---|---|----------|---|
| A1① | 平成25年 10月19日 10:00~ 12:00 | 2時間 | 地球市民かな がわプラザ 中 会議室 | 14人 | 日本14 人 | 外国人とのコ ミュニケーシ ョンをまなぶ~ あなたの日本 語、通じてい ますか。 | 外国人と話をするときにつけた いこと | 坂内泰子 | なし |
| A1② | 平成25年 11月2日 10:00~ 12:00 | 2時間 | 地球市民かな がわプラザ 中 会議室 | 19人 | 日本19 人 | 外国につなが る保護者を交 えて考える~ 外国人保護 者の体験から 学ぶこと。 | 外国人保護者を交えての本音トーク その1 | 坂内泰子 | 野田まり 銭冬梅 ジヨバニ・ロマンサン |
| A1③ | 平成25年 11月16日 10:00~ 12:00 | 2時間 | 地球市民かな がわプラザ 研 修室A | 11人 | 日本11 人 | 外国につなが る保護者を交 えて考える~ 外国人保護 者の体験から 学ぶこと。 | 外国人保護者を交えての本音トーク その2 | 坂内泰子 | イ・ヒヨンスク チャム・ジェットイン 仁科マリアン バク・ミジン |
| A2 | 平成25年 12月1日 13:00~ 16:00 | 3時間 | 神奈川県民活 動サポートセン ター710 | 17人 | 日本16 人 韓国1人 | 生活につなが る教材の活 用例とその利 用 | 教材の紹介と授業例 | 古屋恵子 | なし |
| A3 | 平成26年 1月19日 13:00~ 16:00 | 3時間 | 地球市民かな がわプラザ 中 会議室 | 13人 | 日本13 人 | 外国人の立 場から。日 本で育つとい うこと。 | 外国につながる子どもとして育った 社会人とのトーク | 松尾恭子 | 当間ミゲル |
| A4① | 平成25年 1月26日 14:00~ 17:00 | 3時間 | 地球市民かな がわプラザ ワークショップ ルーム | 9人 | 日本9人 | 外国につなが る子どもたち の声を聴いて | 外国につながる子どもとして育った 大学生とのトーク | 樋口万喜子 | 陶旭茹 菊池まや 湯佳静 鈴木せりな 与那嶺ケン |
| A4② | 平成26年 3月2日 13:00~ 16:00 | 3時間 | 地球市民かな がわプラザ 研 修室A | 10人 | 日本10人 | 外国につなが る子どもの未 来を支えるた めに | こどものライフコースを意識した日本 語学習の場 | 樋口万喜子 | なし |
| B 1 | 平成25年 12月10日 14:00~ 15:45 | 1時間 45分 | なか国際交流 ラウンジ | 41人 | 中国14人 台湾2人 インド3人 パキスタン1 人 ロシア2人 ペルー2人 モルドバ1人 イギリス1人 日本15人 | 地震ワーク ショップatな かラウンジ | 日本語ボランティアと日本で生活す る外国人の、やさしい日本語で「地 震」を学ぶワークショップ | 小島佳子 | なし |
| B 2 | 平成25年 12月10日 17:30~ 19:15 | 1時間 45分 | なか国際交流 ラウンジ | 37人 | 中国25 人 台湾1人 ペルー1 人 日本10 人 | 地震ワーク ショップatな かラウンジ | 日本語ボランティアと日本で生活す る外国人の、やさしい日本語で「地 震」を学ぶワークショップ | 小島佳子 | なし |
| B 3 | 平成26年 2月2日 13:30~ 15:15 | 1時間 45分 | みなみ市民活 動・多文化共生 ラウンジ | 23人 | アフガニ スタン 1 人 フィ リピン 2 人 中国 9人 日 本11人 | 地震ワーク ショップatみ なみラウンジ | ・日本語ボランティアと日本で生活 する外国人の、やさしい日本語で 「地震」を学ぶワークショップ | 小島佳子 | なし |

(8) 受講者の募集方法

- ①YOKE(横浜市国際交流協会)のMLで募集 ②子どもメールで募集 ③ 横浜市国際交流協会にて公開募集
④かながわ県民センター・地球市民プラザにチラシを設置

やさしい にほんごで

じしん わーくしょっぷ みなみらうんじ “地震”ワークショップ at 南ラウンジ

Learn about “Earthquake” Workshop at Minami International Lounge

地震講習会 於南区国際交流处



にほん せいかつ がいこくじん
日本で生活している 外国人の みなさん、
にほんごきょうしつぼらんていあ にほんじん
日本語教室ボランティアをしている 日本人の みなさん!!

にほんご じしん し わーくしょっぷ
やさしい日本語で、「地震」の ことを 知る ワークショップです。

◆日時 2月2日 (日曜日) 13:30~15:00

◆場所 みなみ国際交流ラウンジ

◆参加費 無料 30名 申し込み締め切り 1月26日

◆ファシリテーター 小島 佳子 氏 (神奈川県立国際言語文化アカデミア講師)

◆企画協力 公益財団法人 横浜市国際交流協会 (YOKE)

◆実施協力 「あい・にほんごクラブ」 南消防署

◆連絡先 認定NPO法人地球学校 地球っ子教室: ** TEL 045-***-****

みなみらうんじじむしつ
南ラウンジ事務局 045-***-****

“地震”ワークショップ at 南ラウンジ: 2月2日参加申込 (☉) をつける ① () ② ()

| ふりがな | でんわばんごう 電話番号 | くに 国 | だんたいめい 団体名 |
|-----------|-----------------|---------|---------------|
| なまえ 名前 | | | |

★この講座は文化庁の委託を受けて開催いたします。

「日本で暮らす外国人に学ぶ」シリーズⅣ（全2回）

講師 横浜国大留学生センター 講師 樋口 万喜子 先生

シリーズ最後となる今回は、外国につながる子どもとして育った大学生とのトークを通じて、「子どものライフコースを意識した日本語学習の場」について考えます。

その1 2014年1月26日(日)14:00~17:00

「外国につながる子どもたちの声を聴いて」

(あーすぷらざ ワークショップルーム)

その2 2014年3月2日(日)13:00~16:00

「外国につながる子どもたちの

未来を支えるために」

(あーすぷらざ 研修室A)

会場：地球市民かながわプラザ（あーすぷらざ）

〒247-0007 横浜市栄区小菅ヶ谷1-2-1

JR根岸線 本郷台駅下車 徒歩3分 改札を出て左へ

樋口万喜子先生のプロフィール

H11年より神奈川総合高校で日本語を教える。

H16年より横浜国大留学生センター非常勤講師。

H17年2月、日本語を担当している教員、指導員らと中高生のための教材を作ろうとNPO法人を設立。

「学習語彙 5000語」中国語・ポル語・西語版作成。「JSL 中学高校生のための教科につなげる学習

語彙・漢字ドリル」中国語・ポル語・西語版出版。

受講料 : 500円

お申込み :

担当者 FAX (045-***-****)

又はメールで

chikyu-co@*****

(9) 特徴的な授業風景(2~3回分)

地球っ子教室・文化庁委託事業・公開研修講座(第1回): 記録 押野

| | | | |
|------|---------------------------------|---------|--|
| 日時 | 2013年10月19日(土) | 会場 | 地球市民かながわプラザ 中会議室 |
| 講座名 | 「日本で暮らす外国人に学ぶ」シリーズⅠ | | |
| | 「外国人とのコミュニケーション～あなたの日本語、通じてますか」 | | |
| 講師 | 神奈川県立国際言語文化アカデミア 教授 坂内泰子 先生 | | |
| 参加人数 | 会員 8名 外部からの参加者 6名 【計】 14名 | | |
| 講座内容 | | 講師紹介 | |
| | 10時～12時 | 講義 | 【問題提起】日本語教室につきものの悩みとして、学習者が来なくなる、覚えてくれない、欠席の連絡がない、やる気がないとしか思えないなどがあるが、それは日本語が通じてないからではないか。支援者と学習者が対等に双方向の体験を重ねているだろうか。 |
| | (途中5分休憩) | アクティビティ | 【アクティビティ1】「みんなの日本語トリビア」 |
| | | | 【コミュニケーションを振り返ってみる】 【コミュニケーションにおける伝達意図の重要性】 |
| | | | 【アクティビティ2】「会場で知らない人を見つけて話をしてみよう」 |
| | | | 【話が通じないわけ一話し手の問題・聞き手の問題】 |
| | | | 【人にはそれぞれの文脈がある】相手の文脈を意識して情報を組み立てることが大事。話は文脈の流れの中で理解される。 |
| | | | 【アクティビティ3】「教室でビギナー学習者の安心感・受け入れられ感を作る工夫を話しあう」 |
| | | | 【安心と受け入れられ感の先にある信頼】 |
| | | | 【「やさしい日本語」からのヒント】 |
| 収益 | 受講料 一人500円 × 14名 計 7,000 円受領 | | |
| その他 | | | |



写真1:A1② 平成25年11月2日



写真2:A4① 平成25年1月26日



写真3:B1 平成25年12月10日

写真4:B3 平成26年2月2日

(10) 目標の達成状況・成果

- ・ 養成・研修講座に関して「外国人の声を聴く」こと、目の前の学習者からだけではなく、保護者や大人となった外国につながる子どもたちからの声を聴くことから外国につながる子どもたちが抱える様々な困難について知識を得ることができ、またそれについてどのような手助けができるのかを講座を通して考えることができた。教室の指導において、今後子どものライフコースの相談を受ける際には、より深いアドバイスができると考えている。
- ・ 「防災講座」においては、日本人と外国人では「それぞれが持つ知識についてがギャップがあること」、「母国での対策と日本での地震対策が異なること」などの文化差についての知識を得ることもでき、日本での防災のあり方を伝えることで、彼らが「災害時弱者」にならないための助けになったと考えられる。外国人参加者のアンケートの結果からも、日本で災害(地震)にあうことを想定した準備をすべきであることが十分伝わったといえる。

(11) 改善点について

- ① 講座の時期の検討・・・1月や3月は年明け、年度末、感染症などで参加者が少ない傾向
- ② 外国人との交流、国際社会に関心のある大学生に呼び掛けるため、大学のボランティアに情報を送る

7. 日本語教育のための学習教材の作成

- (1) 教材名称 書き換え教材 外国につながる子どもたちのための「わたしたちの横浜」
- (2) 教材名称 対象

- ・ 外国につながる子ども達:日本の学校に通う児童・生徒、中学校卒業後の来日で学校に在籍しない子ども
- ・ 外国につながる子ども達の保護者

(3) 目的・目標

- ・ フィールドワークにつながる実地学習をして「自分の住んでいる地域・町に出て行う探検・散策活動」につなげる

(4) 構成・総ページ数 本冊 48ページ 教案 23ページ

(5) 教材作成会議の開催について

【概要】

| 回数 | 開講日時 | 時間数 | 場所 | 出席者 | 議題 | 検討内容 |
|----|-----------------------------------|------|--------------------|---------------------------------------|---|---------------------------------|
| 1 | 平成25年 8月31日 10:30～ 12:30 | 2時間 | 神奈川県民活動サポートセンター10階 | 小河千咲子 押野成美 小林とも子 辻雅代 吉田涼子 | ・今年度の書き換え教材作成参加意思確認 ・書き変える教材の説明・書き換え作業内容と質疑応答 | 2013年度の教材作成に参加意思の確認と作業についての説明 |
| 2 | 平成25年 9月7日 10:30～ 12:30 | 2時間 | 神奈川県民活動サポートセンター10階 | 小河千咲子 押野成美 小林とも子 辻雅代 吉田涼子 | ・昨年度作成した教材をもとに、どのように書き換えを進めるのか今年度の方針について ・スケジュール確認(年間計画) | 本年度の書き換え教材の内容について、方針を決める |
| 3 | 平成25年 9月28日 10:00～ 12:30 | 2時間半 | 神奈川県民活動サポートセンター10階 | 小河千咲子 押野成美 小林とも子 辻雅代 吉田涼子 | ・文化庁申請内容についての確認 ・第1章「海と丘を駆け巡った縄文人」の内容検討 | 第1章「海と丘を駆けめぐった縄文人」の用語ひろいだし。内容検討 |

| | | | | | | |
|----|------------------------------------|------|--------------------|---------------------------------------|--|---|
| 4 | 平成25年 10月12日 10:00～ 12:00 | 2時間 | 神奈川県民活動サポートセンター10階 | 小河千咲子 押野成美 小林とも子 辻雅代 吉田涼子 | ・2012年度のふりかえり・今年度と修正するべき点の話し合い | 初級日本語でも理解できる表現に手直志して書き換えを行うか否かについての話し合い。 |
| 5 | 平成25年 10月21日 10:00～ 12:30 | 2時間半 | 神奈川県民活動サポートセンター10階 | 小河千咲子 押野成美 小林とも子 辻雅代 吉田涼子 | ・前回編集会議内容確認(コンセプトを共有する) ・教育委員会本冊のページ40～42の本文とそこに記載される図表の取り扱い | 助数詞のある表現は簡潔にする(初級学習者に不要と判断) 受身形表現の取り扱いについて |
| 6 | 平成25年 11月4日 10:00～ 12:30 | 2時間半 | 神奈川県民活動サポートセンター10階 | 小河千咲子 押野成美 小林とも子 辻雅代 吉田涼子 | ・本文キーワードひろいだし ・地図の取り込みについて | ・新たな地図の掲載に関しては教育委員会の判断を仰ぐ。 本冊ではなく教案に掲載するのを検討 |
| 7 | 平成25年 11月18日 10:00～ 12:00 | 2時間 | 神奈川県民活動サポートセンター10階 | 小河千咲子 押野成美 小林とも子 辻雅代 吉田涼子 | ・教育委員会本冊42ページから43ページまで書き換え ・フィールドワークの検討 | 歴史用語については各自内容確認。専門用語の扱いには注意すること |
| 8 | 平成25年 11月26日 10:00～ 12:30 | 2時間半 | 神奈川県民活動サポートセンター10階 | 小河千咲子 押野成美 小林とも子 辻雅代 吉田涼子 | ・教育委員会本冊43ページから45ページまで書き換え ・現代表記以外の表現の取り扱い | 「防人の歌」は原文ママとする。 掲載の資料の利用について、横浜市歴史博物館に打診 |
| 9 | 平成25年 11月30日 10:00～ 12:00 | 2時間 | 神奈川県民活動サポートセンター10階 | 小河千咲子 押野成美 小林とも子 辻雅代 吉田涼子 | ・写真画像利用についての検討 ・キーワードとなる用語ひろいだし | 教育委員会担当者との面談、年明け早々にアポイント 生命の星地球博物館の勝山輝夫氏との面談予約について |
| 10 | 平成25年 12月6日 10:30～ 13:00 | 2時間半 | 生命の星・地球博物館 | 小河千咲子 押野成美 小林とも子 辻雅代 吉田涼子 | ・書き換え教材内に掲載する写真画像についての相談事前に電話連絡して、資料の紹介を依頼 ・フィールドワークとしての活動に関しての相談 | 掲載する補足資料相談: 学芸員 勝山輝夫氏 学芸員 田口公則氏 |
| 11 | 平成25年 12月9日 13:30～ 16:00 | 2時間半 | 神奈川県民活動サポートセンター10階 | 小河千咲子 押野成美 小林とも子 辻雅代 吉田涼子 | ・生命の星地球博物館で撮影した写真の確認…… 教案に取り込む方針で検討 ・キーワードとなる用語ひろいだし | 生命の星地球博物館で得た資料整理 |
| 12 | 平成25年 12月11日 10:30～ 14:30 | 4時間 | 横浜市歴史博物館 | 小河千咲子 押野成美 小林とも子 辻雅代 吉田涼子 | ・書き換え教材内に掲載する写真画像についての確認 ・フィールドワークとしての活動に関して検討 | ・掲載する資料に関しての相談:担当者不在のため、他の学芸員の方に面談 ・遺跡ガイドの方:見学についての相談 |
| 13 | 平成25年 12月21日 10:00～ 12:00 | 2時間 | 地球市民かながわプラザ 事務室 | 押野成美 辻雅代 吉田涼子 | ・横浜市歴史博物館が所蔵する画像のうち、教育委員会作成の本冊に掲載されている画像の洗い出し。 | 横浜市歴史博物館の図録と教育委員会作成本冊との照らし合わせ |
| 14 | 平成25年 12月21日 15:00～ 17:30 | 2時間半 | 地球市民かながわプラザ 事務室 | 押野成美 辻雅代 吉田涼子 | ・図の掲載方法検討 ・教育委員会作成本冊の写真の利用について話し合い(著作権について) | 生命の星地球博物館から送付の画像の取り込み検討 |
| 15 | 平成26年 1月11日 10:00～ 12:30 | 2時間半 | 神奈川県民活動サポートセンター10階 | 小河千咲子 押野成美 小林とも子 辻雅代 吉田涼子 | ・横浜市歴史博物館担当者古川恵美氏との話し合い内容報告 ・ここまでの書き換え内容見直し | イラストに関してはイラストレーターに直接打診する必要があるため、掲載は断念 |
| 16 | 平成26年 1月21日 10:00～ 12:30 | 2時間半 | 神奈川県民活動サポートセンター10階 | 小河千咲子 押野成美 小林とも子 辻雅代 吉田涼子 | ・教育委員会木村典明氏との面談内容報告 ・ワーク内容検討 | ワークとして、東海道散策を挙げるなら、道筋の安全確認などが必要。 今後フィールドワークとして、実地見学が必要 |
| 17 | 平成26年 2月1日 10:00～ 12:30 | 2時間半 | 神奈川県民活動サポートセンター10階 | 小河千咲子 押野成美 小林とも子 辻雅代 吉田涼子 | ・キーワードとなる用語ひろいだし ・ここまでのキーワードとなる用語の内容検討 ・画像の取り扱い検討 | 東海道三宿マップの掲載方法の検討 横浜市中央図書館所蔵の版画の扱いについて |

| | | | | | | |
|----|-----------------------------------|----------|----------------------------|---------------------------------------|--|--|
| 18 | 平成26年 2月13日 10:00～ 12:00 | 2時間 | 地球市民かな がわプラザ 事 務室 | 小河千咲子 押野成美 小林とも子 辻雅代 吉田涼子 | ・フィールドワーク報告 ・必要な画像、自分たちで撮影した写真がそろって いるのか確認 | フィールドワークで撮影した写真検 討 書き換え教材に掲載する府画像のう ち許可申請がまだできていないもの について |
| 19 | 平成26年 2月13日 13:30～ 16:00 | 2時間 半 | 地球市民かな がわプラザ 事 務室 | 小河千咲子 押野成美 小林とも子 辻雅代 吉田涼子 | ・キーワードとなる用語説明の内容検討 ・掲載する画像と元のものが違うことについて | 用語の検討・専門用語の言いかえ については注意すること |
| 20 | 平成26年 2月20日 10:30～ 12:30 | 2時間 | 地球市民かな がわプラザ 事 務室 | 小河千咲子 押野成美 小林とも子 辻雅代 吉田涼子 | ・本文「東海道三宿マップ」までの書き換え内容確 認・表現の修正 | 2013年度は「東海道三宿マップ」ま での書き換えとし、内容の充実を図 る |
| 21 | 平成26年 2月20日 10:30～ 12:30 | 2時間 | 地球市民かな がわプラザ 事 務室 | 小河千咲子 押野成美 小林とも子 辻雅代 吉田涼子 | ・画像の確認 ・本文全体のの見直し | 誤字脱字。わかりにくい表現、日本 語として係り結びとなっていないもの の洗い出し |
| 22 | 平成26年 2月23日 13:00～ 15:00 | 2時間 | 地球市民かな がわプラザ 事 務室 | 小河千咲子 小林とも子 吉田涼子 | ・本文、キャプション、レイアウトの確認 | 教育委員会本冊に準じた形でまとめ る。 収まりきらない文章の修正 |
| 23 | 平成26年 2月23日 13:00～ 17:00 | 4時間 | 地球市民かな がわプラザ 事 務室 | 小河千咲子 押野成美 小林とも子 辻雅代 吉田涼子 | ・用語内容確認 | 掲載する全用語の見直し・わかり にくい表現の修正 |
| 24 | 平成26年 2月27日 13:00～ 20:0 | 7時間 | 地球市民かな がわプラザ 事 務室 | 小河千咲子 押野成美 辻雅代 吉田涼子 | ・本文、用語、ルビの全チェック | 用語の提出順の修正、用語の記載 内容の修整(平易な日本語文にする 工夫検討) |
| 25 | 平成26年 3月7日 10:00～ 12:00 | 2時間 | 地球市民かな がわプラザ 事 務室 | 小河千咲子 押野成美 小林とも子 辻雅代 吉田涼子 | ・教案採用検討・教案についての方針確認 ・教案に記載する項目検討 | 昨年度の教案と「生活者としての外 国人」に対する日本語教育の標準 的なカリキュラム案・同ガイドブック ・教材例の各冊子を参考にフィールド ワークで得た情報をしつぽりこむ作 業 |
| 26 | 平成26年 3月7日 13:00～ 18:30 | 5時間 半 | 地球市民かな がわプラザ 事 務室 | 小河千咲子 押野成美 小林とも子 辻雅代 吉田涼子 | ・教案内容検討～詳細打ち合わせ ・教案として記載する内容検討～決定 | 教材にかかわる教案のとりまとめ |
| 27 | 平成26年 3月10日 10:30～ 12:30 | 2時間 | 神奈川県民活 動サポートセン ター10階 | 小河千咲子 押野成美 小林とも子 辻雅代 吉田涼子 | ・教案内容検討～詳細打ち合わせ ・作成した教材の内容チェック:ルビ 表現 フィー ルドワーク内容の再検討 | 教材にかかわる教案のとりまとめと 仕上げ |

(6) 使い方

- ①「わたしたちの横浜」本冊の内容読解。横浜に住む子どもたちの身近なところに、昔の遺跡・名残があることを理解する。
- ②家族あるいは学校の行事としてフィールドワークを行う。自分たちで本冊に挙げられた、博物館・案内所へ行くための方法を調べ計画を練る。
- ③フィールドワークで行った先で、遺跡ガイドの方や東海道のお休みどころ(案内所)のボランティアから、日本の歴史について学ぶ。事前に待遇表現の学習を行う。
- ④自分が行ったフィールドワークについての発表をする。

(7) 具体的な活用例

- ・ 活動の目標である「町の中の建造物などが歴史の名残であることを知る」「今住んでいる町への興味を芽生えさせる」「十分の住んでいた町のことを友達に話す」ことを達成するために3つの活動を行う。イメージをつかむために 横浜市内の遺跡・建物などがどのくらい域にあるのかを確認。
- ① 活動1:横浜の人々の生活の変化を学びましょう・・・本冊を読んで、掲載されている写真の時代を特定する。
- ② 活動2:横浜にある史跡に行ってみましょう・・・博物館までの経路、開館時間、入場料、などを自分で調べる(インターネットでの検索を行う) その後、実際に遺跡や博物館に行き、見学をする。
- ③ 活動3:東海道を歩いてみましょう・・・(1)神奈川宿場 (2)保土ヶ谷宿 (3)戸塚宿 の3つの東海道上の宿場町の跡地で、与えられたタスクを行う。

(8) 成果物の添付

- ・ 団体HPで公開 <http://www.chikyu-gakko.org/>

8. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的 日本語を母語としない子どもたちが日本でのおびのびとした生活を構築できるような日本語支援及び日本語運用力の向上、子どもたちが生活する地域の中での居場所づくりを目的とする。

(2) 目標の達成状況・事業の成果

- ・ 日本語教室に関しては、年少者が対象者であることを踏まえて「居場所」としての役割を果たしていると考えられる。自信を持って日本人の友達とのコミュニケーションを確立するところまでは至らなくても、「子どもならではの会話」だけでなく、「文章を読む・文章を書くこと」に意欲をもたせることができた。
- ・ 養成・研修講座に関して「外国人の声を聴く」こと、目の前の学習者からだけではなく、保護者や大人となった外国につながる子どもたちからの声を聴くことから外国につながる子どもたちが抱える様々な困難について知識を得ることができ、またそれについてどのような手助けができるのかを講座を通して考えることができた。
- ・ 「防災講座」においては、日本人と外国人では「それぞれが持つ知識についてがギャップがあること」、「母国での対策と日本での地震対策が異なること」などの文化差についての知識を得ることもでき、日本での防災のあり方を伝えることで、彼らが「災害時弱者」にならないための助けになったと考えられる。
- ・ 教材作成については、書き換えの企画目標の7割(縄文時代から江戸中期まで)で期間終了となったが、フィールドワークを行うなどして、タスクの作成に力を入れることができた。子どもたちが、見学を計画した際に安全にかつ行先に迷うことのないような配慮を行うことができた。

(3) 標準的なカリキュラム案の地域での活用について

- ・ 教材の読解と内容把握を踏まえての、タスクを考案。タスクを考案する前に、各施設を実地見学しその施設担当者と話し合いを持ったうえで企画している。地域の史跡ガイドボランティアの方や、案内所の方々と話をすることで、日本語力の向上が望めるとともに、横浜をより深く理解することにつながると考えられる。
- ・ カリキュラム案の「公共交通機関」利用についての内容を踏まえてタスクを企画しているのだが、実地に行き確認してみると「公共交通機関:バス」の乗り場が分かりにくい、表示が日本語のみである、などの点が改善されることを望む。日本語初級話者でも、見学のプランが建てられるようなサポートがあるとなおよいと考える。
- ・ インターネットによる情報収集に関しては、各施設などのHPが詳細に記載されているので情報は得やすいのだが、日本語表記特に漢字にルビがない点は、子どもたちには利用しにくいと思われる。

(4) 地域の関係者との連携による効果、成果 等

- ・ 横浜市国際交流協会とのコラボレーションで、「地球っ子教室主催 外国人と日本人が共に学ぶ防災講座」を行うことができた。この講座は、外国につながる子どもたちの保護者を念頭に企画されている。
- ・ 「地球っ子教室主催 防災講座」の講座内容検討時から、神奈川県立国際言語文化アカデミア教授坂内氏と講師小島氏との話し合いを持つことができ、より内容の良い講座を企画することができた。
- ・ 「地球っ子教室主催 防災講座」では、横浜市内の国際交流ラウンジ(なかラウンジ および みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ)、各ラウンジで日本語教室を開催するボランティア教室、中区役所・南区役所、中消防署・南消防署 と共同で活動を行うことができた。
- ・ 中学高校生の日本語を指導を考える会やトマトとの連携により、地球っ子教室以外でもっと勉強したい子どもを紹介したり、反対に受け入れることができた。
- ・ 横浜市内小学校にある国際教室の教師と連絡を密に取り合うことで、子どもの学校での様子を知ることができまた指導についてのアドバイスも受けることができた。
- ・ 横浜国立大学の教師と連絡を取り合い、授業の一環として学生に子どもの様子を見学してもらうことができた。また、授業終了後にはボランティアとして参加したいという意向を受けている。
- ・ 福島県郡山市の国際交流協会、郡山市の日本語ボランティアグループの研修を受け入れ、情報交換を行うことができた。

(5) 改善点, 今後の課題について

- ・ 教室に参加している子どもたちの保護者ともう少し密に連絡が取りたいのだが、日本語の会話が不得手だったり、母語でのみ会話が成立する場合も多々あり、困難な点が多い。
- ・ 研修・講座の開催時期については、年度末(3月)、1月や12月の時期の時期を避けた方がいいと思われるのだが、今回は追加募集での委託事業だったため、8月から3月初旬という正味6か月半ではなかなか難しかった。
- ・ 教材作成に関しては、「著作権」が絡む画像の入手、許可申請が煩雑だった。写真に関してはできるだけ自分たちで撮影を行ったが、撮影できないものの許可やイラストの入手がもう少しスムーズにいくとよいと思う。

(6) その他参考資料

◆ 2013年度地球っ子教室・公開講座第1回目(10月19日) アンケート修正結果

1 この講座を何で知りましたか

①チラシ 1 ②地球学校HP 0 ③メールチェーン 2 ④その他 大学教員1・地球学校友ノ

2 参加の動機は何ですか

①仕事のため 1 ②ボランティア活動に生かすため 3 ③これから活動するため 2

④その他 ・興味のある内容につながら。 ・入子院で日本語教育を先行し、地域日本語教育に関心かめるため
・家が近いから

3 現在、外国につながる子どもたちの日本語指導をしていますか

はい 3・ いいえ 6

4 内容はいかがでしたか

① 大変役に立った 8 ② 役にたった 1 ③ ふつう 0 ④ あまり役に立たなかった 0

⑤ 役にたたなかった 0

5 役にたった・大変役に立ったと思う点

- ・ 子どもに安心感を与えることの大切さを改めて知りました。やる気を引き出すような工夫もいろいろ考えさせられました。
- ・ 何気なくやってきたことを意識化しました。
- ・ 担当教師以外の教師が学習者の名前を知っていて、名前を読んであげること→共有したい。
- ・ 文脈を推測することが対話にとって大切なことであるということが重要だと気付きました。
- ・ わかりやすく伝えるにはスキルだけではなく、相手への心的配慮が大切であることがよくわかった。
- ・ グループワークが楽しかった。
- ・ 文脈を共有していくということは外国につながる方への支援のみならず、今私がかかわっているPTAなどでも大切だと思いました。
- ・ 子どもの場合、特に一刻も早く日本語を聴いて話してかけること鶴を重視して焦ってしまうことが多いのですが、学習者の文脈をとらえることの大切さを知りました。
- ・ 「みんなの日本語」で教えています。もっと深く読みこなす必要を感じています。
- ・ 自己開示ということを改めて考えたい。授業に取り入れたい。
- ・ 伝達意図—もう少しどうということか考えたい。
- ・ 内容が面白かった。
- ・ 知らない方ばかりだったのに、アットホームな雰囲気楽しかったです。
- ・ チームでディスカッションや意見交換など自分の考えや視野を広げることができて、とても充実した研修会でした。